

**製品名: SEPT7 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86589**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 51 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDC3
別名	CDC3; CDC10; SEPT7A; NBLA02942
遺伝子 ID	989
SwissProt ID	Q16181
免疫原	ヒト SEPT7 の組み換えタンパク質

**背景**

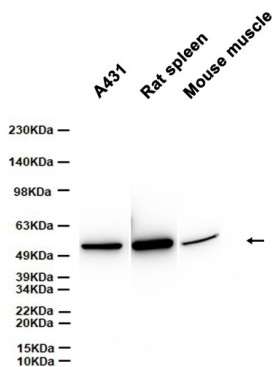
この遺伝子は、サッカロミセス・セレビスエの CDC10 タンパク質と非常に類似したタンパク質をコードしています。このタンパク質

は、ショウジョウバエの Diff6 およびマウスの H5 と同源性があります。酵母 CDC10 を含むこれらの類似タンパク質はいずれも GTP 結合モチーフを含んでいます。酵母 CDC10 タンパク質は、細胞質膜内部に存在する 10nm のフィラメントの構成成分であり、細胞質分裂に不可欠です。このヒトタンパク質は、神経膠腫の形成および神経膠腫細胞の増殖抑制に機能し、セントロメア関連タンパク質 E と動原体との結合に必須です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。5 番、7 番、9 番、10 番、11 番、14 番、17 番、19 番染色体上に、関連する偽遺伝子がいくつか同定されています。[RefSeq 提供、2011 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



SEPT7 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、A431 細胞およびラットの脾臓、マウスの筋肉組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。